第２節　消防活動の現況

トピックス　4～7ページ

～精強な消防部隊とその活動～

○　火災出場件数は 8,394 件。１件の火災出場において、平均して消防車両約９台、消防職員約 37人が出場

○　救助活動の出場件数は 28,966 件。１件の救助活動において、平均して消防車両約3台、消防職員約14 人が出場

１　火災出場の状況

（１）出場件数（車両数）・出場人員、活動時間

令和６年中の消防隊の火災出場件数（誤報等を含む）は 8,394 件、出場した消防車両等は 76,855 台、出場人員は 311,045 人でした。平均すると１件に対して消防車両等約９台、消防職員約 37人が出場しています。（図表1－2－1、 2）

■ 図表1－2－1　出場件数（車両数）・出場人員、活動時間の状況

	令和６年	令和５年	前年比
出場件数（車両数）	8,394 件（76,855 台）	7,763 件（69,685 台）	631 件（7,170 台）
出場人員	311,045 人	284,960 人	26,085 人
活動時間	平均１時間 12 分	平均１時間 11 分	１分

■ 図表1－2－2　主な消防車両等の火災出場状況

区　　分	出場延べ数	区　　分	出場延べ数
ポンプ車	44,759 台	指揮隊車	7,689 台
化学車	3,509 台	はしご車	5,855 台
救助車	4,630 台	消防ヘリコプター	46 機

（２）救助・避難誘導人員

令和６年中の火災における救助人員は 152 人で前年比 21 人増加しています。（図表1－2－3）

■ 図表1－2－3　火災における救助人員・避難誘導人員の状況

	令和６年	令和５年	前年比
消防隊による救助	152 人	131 人	21 人
消防隊による避難誘導	210 人	90 人	120 人

2　救助活動の状況

トピックス 8~11 ページ

（1）出場件数（車両数）・出場人員

令和 6 年中の救助出場件数は 28,966 件で前年比 811 件増加しました。出場件数の増加に伴い、救助人数及び出場人数も増加しています。（図表1−2−4）

■ 図表1−2−4　出場件数（車両数）・救助人員・出場人員の状況

	令和 6 年	令和 5 年	前年比
出場件数（車両数）	28,966 件（100,375 台）	28,155 件（95,630 台）	811 件（4,745 台）
救助人員	18,304 人	18,114 人	190 人
出場人員（DMAT※含む）	414,663 人	393,133 人	21,530 人

※専門的なトレーニングを受けた医師や看護師が医療資器材を携えて災害現場へ赴き、その場で救命処置等を行う災害医療派遣チーム。

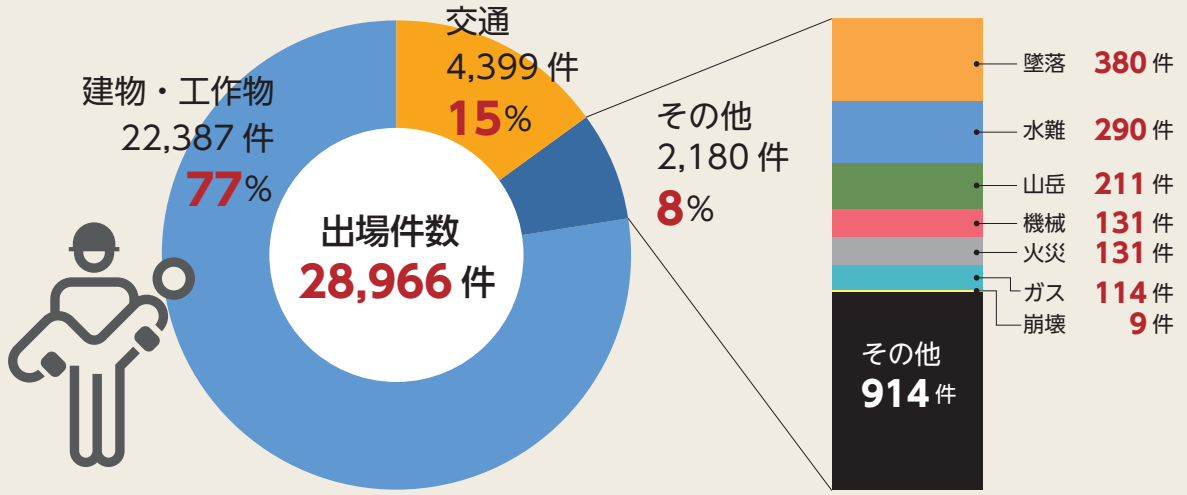
（2）事故種別状況・救助人員

令和 6 年中の事故種別ごとの出場件数及び救助人員は図表1−2−5及び図表1−2−6のとおりです。「建物・工作物」、「交通」の区分の合計が9割以上を占めています。

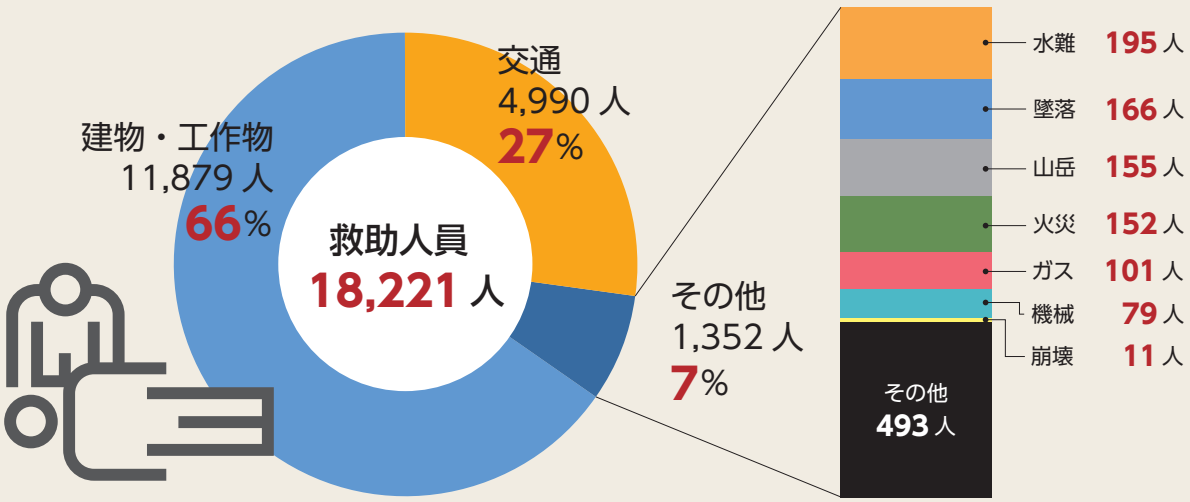
建物・工作物とは、建物等における事故のことをいいます。救急要請の 119 番通報を受け、救急隊が出場したものの、右の（例）のような場合は建物・工作物の救助活動に分類されるため、件数が多くなっています。

（例）
- 玄関が施錠されているなど、消防隊による破壊等を行わなければ、傷病者に接触できない場合
- 搬送路が狭あいであるなど、救急隊 3 名のみでは救急現場から救急車までの搬送が困難であり、消防隊の応援が必要な場合

■ 図表1−2−5　事故種別ごとの出場件数



■ 図表1－2－6　事故種別ごとの救助人員



3　危険排除等の状況

危険排除等とは、危険物や毒劇物等が流出した場合に、火災の発生防止及び人的被害の軽減を図ることや、自然現象による危険を除去するために行う消防活動のことです。活動内容は「危険排除」、「応急措置」、「警戒」等に分けられます。

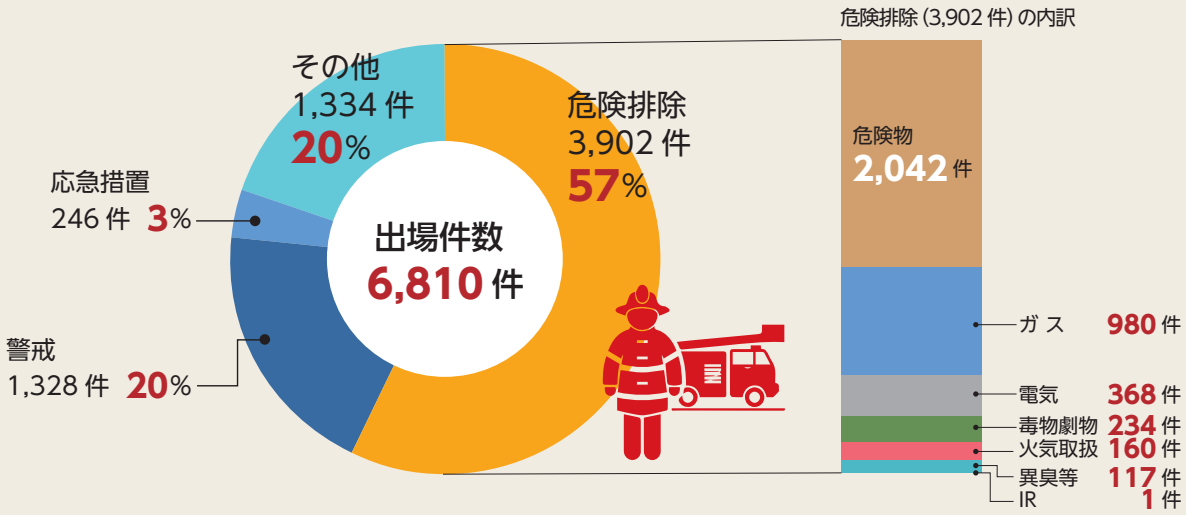
令和６年中の危険排除等の出場については図表１－２－７及び図表１－２－８のとおりです。

交通事故でガソリン等が流出した場合も「危険排除」に該当するため、件数が多くなっています。

■ 図表1－2－7　出場件数（車両数）・出場人員の状況

	令和６年	令和５年	前年比
出場件数（車両数）	6,810 件（18,797 台）	6,418 件（17,807 台）	392 件（990 台）
出場人員	82,063 人	77,307 人	4,756 人

■ 図表1－2－8　活動内容別出場件数の内訳

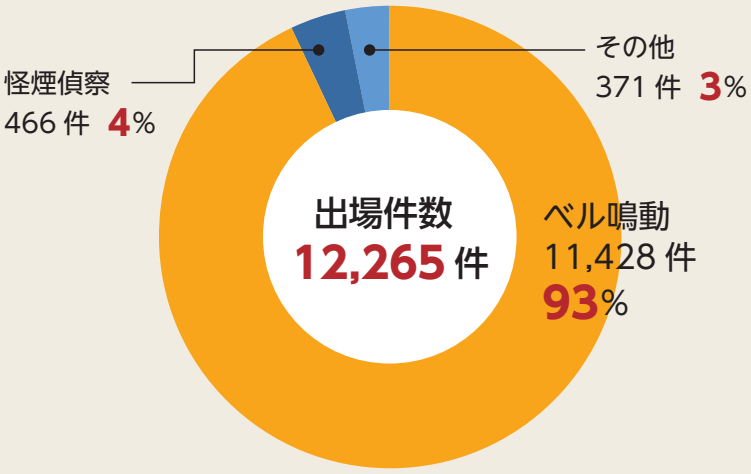


4　緊急確認の状況

緊急確認とは、火災と紛らわしい火煙等または自動火災報知設備等が作動（ベル鳴動）した旨の通報があった場合、緊急に現場を確認する消防活動のことです。

令和６年中の区分別の内訳は図表１－２－９のとおりです。「ベル鳴動」が９割以上を占めています。（図表1－2－9）

■ 図表1－2－9　緊急確認区分別の内訳



■ 図表1－2－10　出場件数（車両数）・出場人員の状況

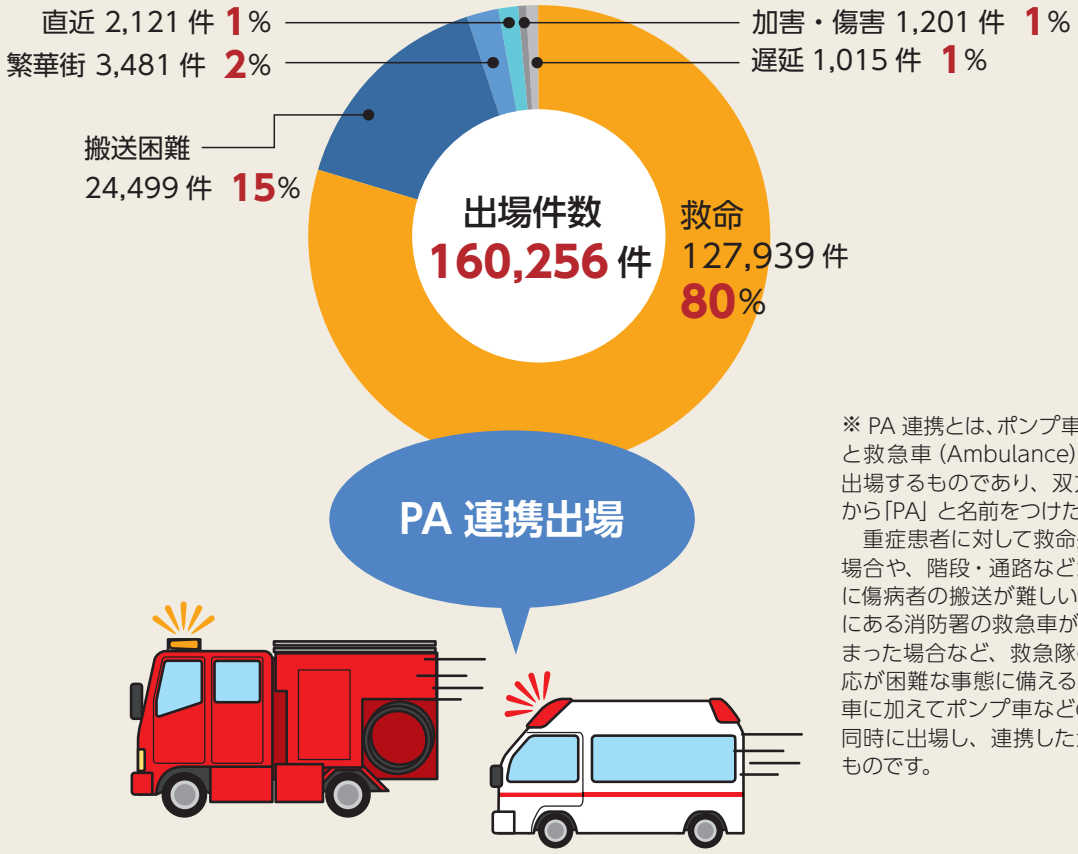
	令和６年	令和５年	前年比
出場件数（車両数）	12,265 件（19,259 台）	10,559 件（16,897 台）	1,760 件（2,362 台）
出場人員	88,913 人	77,576 人	11,337 人

5　救護活動（PA連携）の状況

救護活動（PA連携）※とは、必要に応じてポンプ隊等が救急現場に出場し、救急隊と連携して傷病者の救出、救護処置を行う活動のことです。

救護活動（PA連携）の区分をみると、「救命」、「搬送困難」の順となっています。（図表1－2－11）

■ 図表1－2－11　PA連携区分別の内訳



※ PA 連携とは、ポンプ車(Pumper)と救急車（Ambulance）が同時に出場するものであり、双方の頭文字から「PA」と名前をつけたものです。
　重症患者に対して救命処置を行う場合や、階段・通路などが狭いために傷病者の搬送が難しい場合、近くにある消防署の救急車が出場してしまった場合など、救急隊のみでは対応が困難な事態に備えるため、救急車に加えてポンプ車などの消防車が同時に出場し、連携した活動を行うものです。

■ 図表1－2－12　出場件数（車両数）の状況

	令和６年	令和５年	前年比
出場件数（車両数）	160,256 件（162,422 台）	171,515 件（174,053 台）	▲11,259 件（▲11,631 台）